

真龍と信仰

令和6年 MATATSU

3月13日(水) ▶ 6月2日(日)

観覧無料

内山真龍は、遠江国豊田郡大谷村(浜松市天竜区大谷)の名主としての忙しい仕事の傍ら、賀茂真淵に入門して国学を学び、やがて遠州地方の国学研究の中心的な存在となっていた人物です。

国学は、仏教や儒教が伝わる以前の日本人の考え方を明らかにしようとする学問で、このため国学者は『古事記』や『万葉集』といった日本の古典を研究対象とするのが一般的です。しかし、真龍は自らの菩提寺でもある大谷村西来寺の住職天胤道樹(てんいんどうじゅ/後に能登国總持寺大僧正となる高僧)に学び、国学者としては異色ながら、仏典研究にも力を注いでいます。近畿や出雲地方への旅の先々では多くの神社仏閣を訪れ、その様子を絵や文に書きとめました。

また、真龍は、国学の中でもとりわけ地理・歴史を研究対象としました。研究の集大成である地誌の『遠江国風土記伝』には、遠江国13郡下の郷名、村、山河、地図、古跡、石高などとともに、寺社について詳細に記しています。

今回の常設展では、真龍の神仏と信仰に対する眼差しを、その著作や絵画等により明らかにします。併せて当館に保管されている横山八幡神社の田楽面をはじめとする天竜地域の神社・寺院や信仰に関する資料を紹介いたします。

◆ 主な展示資料【予定】

◇ 真龍の作品

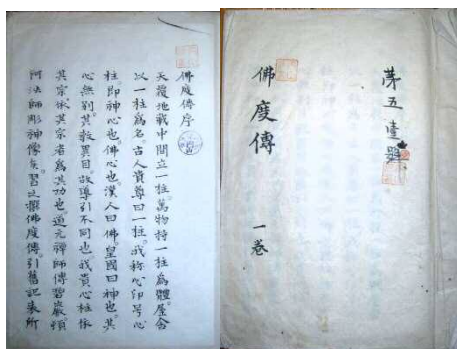
『仏度伝』/内山真龍像/聖徳太子像(複製)

『出雲日記』/『遠江国風土記伝』/『田家歌集』

◇ 天竜地域の神社・寺院関係資料

田楽面(横山八幡神社)/鰐口(峯熊阿弥陀堂、

西神沢六所神社他)/釈迦十六善神像(洞泉寺)



▶ 『仏度伝』序



▶ 横山八幡神社 田楽面

浜松市立内山真龍資料館

開館時間：午前9時から午後5時まで

休館日：月・火曜日

祝日(3/20、5/3~5)

住所：浜松市天竜区大谷 568 番地

電話：053-925-4832

